

科目名	論理国語	単位数	4単位	学年	2年	コース	特進理系	必修
教科書	探求 論理国語(桐原書店)							
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・探求論理国語準拠予習復習ノート・大学入試国語頻出問題1200 四訂版・ちくま文学講読上級編							
授業の到達目標	実社会で必要な国語の知識や技能を身に付ける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
授業内容 ・ 進め方	様々な分野の評論文、実用的な文章を取り上げ、読む力、書く力を養う。複数文章の読み比べや、副教材を使用しての小説読解など、表現方法についても幅広く学ぶ。プレゼンテーションやレポート作成、小テストで理解を深める。小論文は2回実施し、分析力・記述力を伸ばす。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等							
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表(プレゼンテーション)の内容と過程・レポート等							
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:4:1を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	評論「いのちは誰のものか?」(鷲田清一)【要旨の把握】					
			小説「晴れた空の下で」(江國香織)【解釈の深化】					
	5月	考査実施	「書く」ことへの挑戦—小論文を書く【小論文①】					
			小説『山月記』(中島敦)【多様な観点】					
	6月	/	論文「変身に伴う快樂と恐れ—「山月記」を通じて」(宮原浩二郎)【解釈の深化】					
プレゼンテーション								
7月	考査実施							
(2学期)	9月	/	実用的な文章5 「全国高校生「四字熟語」総選挙」プレゼンテーション					
			評論文「ロボットは心を持つか」(黒崎政男)【論拠の検討】					
			評論文「そもそも心とは何か」(石黒浩)【情報との関連】					
	10月	考査実施	評論文「「もどかしさ」の融合」(佐佐木幸綱)【具体例の働き・効果的な表現】					
			評論文「「物語」としての伝統」(西江雅之)【接続表現・見解の根拠】					
11月	/	実用的な文章4 「観光地紹介を書く」プレゼンテーション						
		「書く」ことへの挑戦—問いを生む【小論文②】						
12月	考査実施							
(3学期)	1月	/	小説『こころ』(夏目漱石)【多様な観点】					
			論文「淋しい人間—「こころ」を通じて」(山崎正和)【解釈の深化】					
	レポート							
2月	/							
3月	考査実施							

科目名	古典	単位数	2単位	学年	2年	コース	特進理系	必修
教科書	精選 古典探究(大修館書店)							
副教材・参考書	古語辞典・学習ノート・トータルサポート新国語便覧・完全マスター古典文法・書き込みながら覚える古典文法ワークノート・わかる・読める・解けるKey&Point 古文単語330・基礎から解釈へ漢文必携・漢文必携チェックノート基本編・大学入試国語頻出問題1200 四訂版							
授業の到達目標	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、作品を読むことを通して、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。							
授業内容・進め方	教科書を中心に授業を進める。その際、質疑応答や小テストを行い、理解度を深めていく。また、主体的な活動を通して他者との意見や考え方の違いを確認し、客観的視点を養う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り(自己評価・他己評価)、行動観察							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5 :4 :1 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		古文:『十訓抄』『大江山いくのの道』◎用言の復習・和歌の修辞					
	5月	考査実施	漢文: 故事成語「塞翁馬」◎訓読・書き下し文・句法					
	6月		古文:随筆『枕草子』『中納言参りたまひて』◎三大随筆・敬語入門					
	7月	考査実施						
(2学期)	9月		古文:随筆『徒然草』『家居のつきづきしく』◎三大随筆・助動詞					
	10月	考査実施						
	11月		漢文:史伝『史記』『鴻門の会』(一)「項王の最期」(一)◎時代背景・人物関係・句法					
	12月	考査実施						
(3学期)	1月		古文:物語『源氏物語』『光源氏の誕生』◎助動詞・敬語・人物関係					
	2月							
	3月	考査実施						

科目名	数学Ⅱ		単位数	4単位	学年	2年	コース		特進理系		必修
教科書	数研出版 高等学校 数学Ⅱ, 数学Ⅲ										
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅱ+B, 数学Ⅲ+C										
授業の到達目標	座標平面上に図形を方程式として表現すること、また、式から図形をグラフとして表現できるようにする。様々な関数を解析し、処理するための基盤を構築する。数学と様々な学問を積極的に結び付け考える姿勢を身に着ける。また、理系入試に対応する応用問題を解くことができるようにする。										
授業内容 ・進め方	(数学Ⅱ) 3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 (数学Ⅲ) 1. 関数 2. 式と曲線 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。3学期は数学Ⅲの内容に取り組む。(1. 式と証明 2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 1節 2節 は1年次に履修済み)										
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題										
	【思考・判断・表現】 定期テスト										
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	第3章 図形と方程式				第1節 点と直線				
								第2節 円			
	5月	/					第3節 軌跡と領域				
			第4章 三角関数				第1節 三角関数				
	6月	/					第2節 加法定理				
	7月	/	第5章 指数関数と対数関数				第1節 指数関数				
(2学期)	9月	/					第2節 対数関数				
	10月	/	第6章 微分法と積分法				第1節 微分係数と導関数				
	11月	/					第2節 関数の値の変化				
	12月	/					第3節 積分法				
(3学期)	1月	/	【数学Ⅲ】 第1章 関数								
			第2章 極限				第1節 数列の極限				
	2月	/					第2節 関数の極限				
	3月	/									
			/								

科目名	物理基礎		単位数	2単位	学年	2年	コース	特進理系	必修
教科書	物理基礎(数研出版)								
副教材・参考書	リードLightノート物理基礎(数研出版)								
授業の到達目標	物理的な事物、現象についての関心や探究心を高め、科学的に探究する能力を育てるとともに、基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。								
授業内容 ・進め方	1、物理の基本的原理を実際の物理現象と関連づけさせ、生徒の自然への興味、関心を高める。 2、物理実験を通して、結果からの考察を追究させ、生徒の物理学的探究心を深める。 3、身近な物理現象について意見交換をさせ、テーマについて考えさせることで科学的思考力を高める。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。								
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、探究課題等により評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、提出物等により評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月		第1章1節 運動の表し方						
	5月	考査実施							
	6月		第1章2節 力と運動の法則						
	7月	考査実施							
(2学期)	9月		第2章1節 運動とエネルギー						
	10月	考査実施	第2章2節 熱						
	11月		第3章1節 波とは何か						
	12月	考査実施	第3章2節 音波						
(3学期)	1月		第4章1節 物質と電流						
	2月		第4章2節 磁場と電流						
	3月	考査実施	第5章1節 エネルギーとその利用						

科目名	化学	単位数	3単位	学年	2年	コース		特進理系		必修	
教科書	化学(実教出版)										
副教材・参考書	フォトサイエンス 化学図録(継続使用)、アクセスノート 化学 新課程版										
授業の到達目標	化学に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、身近な事象とのつながりを学ぶ。また、実験・観察を通して実践的な技術を習得するとともに、探究的思考、論理的な表現力を養う。										
授業内容 ・進め方	思考と演習を取り入れた講義を中心に、基本的な概念の理解を深める。また、適宜必要に応じて演示実験・生徒実験や、グループワーク等に取り組みせることで、実体験や他者との対話を通じた学びを促す。自主的な問題集の取り組みとその反省を通じて、自ら学びに向かう力を育成する。										
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。										
	【思考・判断・表現】定期考査、提出課題、探究課題等により評価する。										
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、レポート課題等により評価する。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	ガイダンス 授業と評価・化学概論								
			1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化			2節 固体の構造					
	5月	/	3節 気体の性質			気体の状態方程式					
			4節 溶解・溶解度			希薄溶液の性質					
			コロイド溶液								
	7月	/									
			考査実施								
(2学期)	9月	/	2章 物質の変化と平衡 1節 エネルギーの変換と保存								
			化学反応と熱エネルギー								
	10月	/	化学反応と光エネルギー			2節 電池					
			電気分解								
			反応の速さ			反応速度を変える条件					
	12月	/	反応のしくみ								
			考査実施								
(3学期)	1月	/	4節 可逆反応と化学平衡			化学平衡の移動					
			電離平衡								
	2月	/	4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴			有機化合物の分類					
			2節 飽和炭化水素								
	3月	/	考査実施								

科目名	体育(男子)	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容 ・ 進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体力テスト					
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)					
	5月	/	器械運動(マット運動)					
6月	/	球技 ゴール型 サッカー(パス、ドリブル、シュート)						
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)						
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)					
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
12月	考査実施	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)					
(3学期)	1月	/	球技 ゴール型 サッカー(ゲーム中心)					
	2月	/	陸上競技(長距離走)					
3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)						

科目名	体育(女子)	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容 ・ 進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体力テスト					
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)					
	5月	/	器械運動(マット運動)					
6月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(キャッチボール、バッティング)						
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)						
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)					
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
12月	考査実施	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
(3学期)	1月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(守備・攻撃練習、ゲーム)					
	2月	/	陸上競技(長距離走)					
3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)						

科目名	保健		単位数	1単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)								
副教材・参考書									
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。								
授業内容・進め方	健康について単なる知識理解にとどまらず、個人の適正な意思決定や行動選択ができるように、それぞれの単元の主概念を教科書中心に学習する。 基礎基本である知識を身につけ、考えることを主体に展開する。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。								
	【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が養われているか。								
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	3章 生涯を通じる健康						
			1. 思春期と健康						
			2. 性意識の変化と性行動の選択						
	5月	/	3. 結婚生活と健康						
			4. 妊娠・出産と健康						
			5. 家族計画						
	6月	/	6. 加齢と健康						
			7. 高齢社会に対応した取り組み						
8. 働くことと健康									
7月	/	/							
(2学期)	9月	/	9. 労働災害の防止						
			10. 働く人の健康づくり						
			4章健康を支える環境づくり						
	10月	/	1. 大気汚染と健康						
			2. 水質汚濁・土壌汚染と健康						
			3. 健康被害を防ぐための環境対策						
	11月	/	4. 環境衛生に関わる活動						
			5. 食品の安全性と健康						
6. 食品の安全性を確保する取り組み									
12月	/	/							
(3学期)	1月	/	7. 保健制度とその活用						
			8. 医療制度とその活用						
			9. 医薬品の制度とその活用						
	2月	/	10. 様々な保健活動や対策						
			11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり						
	3月	/	/						
3月	/	/							

科目名	音楽 I	単位数	2単位	学年	2年	コース	特進理系	選択
教科書	MOUSA 1(教育芸術社)							
副教材・参考書	なし							
授業の到達目標	音楽の幅広い活動を通して生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。							
授業内容 ・進め方	実技(歌唱・器楽)・音楽史鑑賞・音楽理論をバランスよく学習する。 外国の作品は原語で歌唱し、その国の歴史、文化、風習等、様々な分野とつながりをもって学習させる。							
観点別評価の方法	【知識・技能】音楽史・楽典・読譜力・発声法・楽器の奏法							
	【思考・判断・表現】知識・技能に裏付けられた豊かな表現							
	【主体的に学びに向かう態度】授業に向かう積極性・協調性・持続性							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	発声 校歌					
			イタリア歌曲「Caro mio ben(いとしのわがきみ)」					
			箏の基本奏法					
	5月	<small>考查不実施</small>	イタリアについて(イタリア語・文化・歴史・風土)					
			原語で歌唱					
			箏「さくらさくら」					
	6月	/	イタリア歌曲「Caro mio ben(いとしのわがきみ)」					
実技試験 歌唱「Caro mio ben」(独唱)								
実技試験 器楽・箏「さくらさくら」(独奏)								
7月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞 ルネサンス～バロック						
(2学期)	9月	/	発声					
			日本歌曲 この道					
			ギターの基本奏法					
	10月	<small>考查不実施</small>	混声四部合唱「We are the World」					
			音楽理論					
			ギター「禁じられた遊び」					
	11月	/	音楽理論					
実技試験 歌唱「この道」								
実技試験 器楽・ギター「禁じられら遊び」								
12月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞 古典派～ロマン派～現代						
(3学期)	1月	/	ハンドベル・アンサンブル「星に願いを」					
			グループ練習					
			グループ練習					
	2月	/	リハーサル					
			実技試験 ハンドベル・アンサンブル「星に願いを」(グループごと)					
			パーカッション・アンサンブル「宝島」					
	3月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞					

科目名	美術 I		単位数	2単位	学年	2年	コース	特進理系	選択
教科書	高校生の美術1								
副教材・参考書	スケッチブック								
授業の到達目標	作品の制作および鑑賞を通じて、個人個人の感性や様々な思考、創造力を養い、様々な価値観に触れながら自己を深く掘り下げることを目標とする。								
授業内容・進め方	作品制作におけるアイデアや制作方法を探りながら、物の見方や色彩理論の解説および指導を行う。また、生徒個人の能力に応じて指導をし、満足度と完成度を高める。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 絵画・立体・デザインにおける技法や理論および知識の習得。								
	【思考・判断・表現】 対象物を的確に捉える観察力、豊かな創造性を生み出すための視点や発想力。								
	【主体的に学びに向かう態度】 制作のみならず準備や片付けなどの積極性や他者を尊重する姿勢。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	ガイダンス						
			レタリング(スケッチブックに各自の氏名を明朝体でレタリング)						
			デッサン(球体を陰影で描く)						
	5月	<small>審査不実施</small>	1、鉛筆でのグラデーション表現および陰影表現を用いてのデッサン						
			色彩理論および表現(三原色、三属性、色相環および配色について学ぶ)						
	6月	/	1、三原色カラーを用いての色相環制作						
			水彩表現(透明水彩絵の具を用いての写生)						
	7月	<small>審査不実施</small>	1、下描き						
2、透明水彩絵の具を使用したの彩色①									
(2学期)	9月	/	絵画制作「静物油彩」						
			(油絵具による静物画の制作。絵具の特性や技法、絵画の歴史について学ぶ)						
			1、下描き(キャンバスや木炭で下描き)						
	10月	<small>審査不実施</small>	2、絵の具について(絵の具の材料の違いなどに触れ、油絵具の特徴を理解する)						
			3、下地塗り(揮発油で薄く溶き、発色を高め絵の具の食い付きを高める)						
	11月	/	4、本描き①(主観色、客観色を学びながら、色彩豊かな表現および自己を深く探求する表現を目指す)						
			6、本描き②						
	12月	<small>審査不実施</small>	7、本描き③						
8、本描き④									
(3学期)	1月	/	「さまざまな遊びができる遊具」のデザイン						
			(グループでの制作を通じて、インクルーシブデザインについて学ぶ)						
	2月	/	1、導入およびグループ分け						
			2、実在する遊具を調べ、それをもとにグループとしてのアイデアを出す						
			3、そのアイデアをもとに模型製作						
	3月	<small>審査不実施</small>	4、プレゼンテーション資料の制作						
5、発表(各グループごとに発表をし、評価する)									
6、振り返り									

科目名	家庭基礎	単位数	2単位	学年	2年	コース	特別進学	必修
教科書	実教出版 家庭基礎 気づく力築く未来							
副教材・参考書	生活学Navi資料+成分表2024 ビジュアルクッキング							
授業の到達目標	家族・福祉・衣食住・消費生活・資産形成などについて主体的・協働的な学びを通じて、知識・技能の習得と生活の充実・向上を図る力と実践的な態度を身につける。現在の生活課題の解決と将来を見通した生活設計を行い、自立への道筋を考えられるようになる。							
授業内容・進め方	家庭・消費生活・住生活・食文化・栄養素・保育・衣生活などの学習について、必要に応じて実習・グループワークを行いながら、プリントを用いて学習を行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査、パフォーマンス等により評価する							
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、課題等により評価する							
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、行動観察、授業態度、提出物等により評価する							
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：3：3を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	1章「これからの人生について考えてみよう」					
			2章「自分らしい生き方と家族」 自立と共生、家族と法律					
	5月	考査不実施	9章「消費行動を考える」 消費行動と意思決定、現状と課題、権利と責任、ライフスタイルと環境					
			10章「経済的に自立する」 家計と経済の関わり、ライフプランニング					
	6月	/	8章「住生活をつくる」 住まいを計画する					
	7月	考査実施						
(2学期)	9月	/	6章「食生活をつくる」 私たちの食生活、栄養と食品の関わり、食品の選び方と安全、これからの食生活 調理実習①					
	10月	考査不実施	7章「衣生活をつくる」 衣服素材の種類と特徴、衣服の手入れ					
	11月	/	4章「高齢者とかかわる」 高齢社会の現状と課題、支えるしくみ					
12月	考査実施							
(3学期)	1月	/	3章「子どもとかかわる」 子どもの発達、子どもの生活、子どものための社会福祉					
	2月	/	5章「社会とかかわる」 共生社会を生きる					
3月	考査実施							

科目名	理数探究基礎	単位数	1単位	学年	2年	コース	特進・進学理系	必修
教科書	理数探究基礎(数研出版)							
副教材・参考書	課題研究メソッド ゼロから始める探究活動							
授業の到達目標	教科横断的な問題解決能力を育成するために、探究に必要な知識技能や習得する。また、自ら探究テーマを設定、検証するための基礎を学ぶことで、理数探究に繋げる。							
授業内容・進め方	エナジードVol.3他者の視界を描く力を通して、客観的に相手の視点に立って物事を考えたり行動に移す力を磨き、グループ探究を協働的に行う土台とする。ミニ探究①～④では、物理・化学・生物・数学の視点から、仮説→実験→データ分析→発表・レポートを行うことで、理数科目を幅広く探究的に学び、理数探究を行うための基礎的な力を養う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】実験、レポートによって評価する。							
	【思考・判断・表現】実験、レポート、発表によって評価する。							
	【主体的に学びに向かう態度】実験、レポート、発表によって評価する。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする							
授業スケジュール	日							
(1学期)	4月	11	オリエンテーション週					
		○ 18	【1】エナジードVol.3 Lesson 01 他者の感覚に気づく力					
		25	校外学習日					
	5月	○ 9	エナジードVol.3 Lesson 02 他者視点で発案する力					
		○ 16	エナジードVol.3 Lesson 03 他者と共に実現する力					
		23	中間考査週					
		○ 30	【2】物理・化学・生物・数学 ミニ探究① 導入					
	6月	○ 6	物理・化学・生物・数学 ミニ探究① 実験					
		○ 13	物理・化学・生物・数学 ミニ探究① データ分析					
		△ 20短	物理・化学・生物・数学 ミニ探究① 発表・レポート作成					
		○ 27	理数探究のすすめ方(理系版データサイエンス)					
	7月	4	期末考査週					
		11短	フォトジャーナリスト藤原亮司氏による講演					
	(2学期)	9月	5	敬学祭準備日				
○ 12			物理・化学・生物・数学 ミニ探究② 導入					
○ 19			物理・化学・生物・数学 ミニ探究② 実験					
○ 26			物理・化学・生物・数学 ミニ探究② データ分析					
10月		○ 3	物理・化学・生物・数学 ミニ探究② 発表・レポート作成					
		○ 10	物理・化学・生物・数学 ミニ探究③ 導入					
		17	中間考査週					
		○ 24	物理・化学・生物・数学 ミニ探究③ 実験					
		○ 31	物理・化学・生物・数学 ミニ探究③ データ分析					
11月		○ 7	物理・化学・生物・数学 ミニ探究③ 発表・レポート作成					
		○ 14	理数探究のすすめ方(冬休み構想レポート)					
		○ 21	物理・化学・生物・数学 ミニ探究④ 導入					
		28	期末考査週					
12月		5	修学旅行週					
(3学期)	1月	△ 9短	物理・化学・生物・数学 ミニ探究④ 実験					
		16	入試業務日					
		○ 23	物理・化学・生物・数学 ミニ探究④ データ分析					
		○ 30	物理・化学・生物・数学 ミニ探究④ 発表・レポート作成(合同発表会)					
	2月	○ 6	【3】理数探究 探究計画書 作成(探究パターンカード)					
		○ 13	理数探究 探究計画書 作成					
		○ 20	理数探究テーマ構想発表会					
		○ 27	発表会 振り返り 研究計画書 修正					
備考								